

# ローマ人への手紙:「救い」という王冠の宝石

私の罪の問題は、神との問題です

ローマ人への手紙1～7章のまとめ、パート1

Grace Fellowship Church / Pastor Brad Bigney / September 14, 2014

第一ヨハネ2:15-17 <sup>15</sup>世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。<sup>16</sup>すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。<sup>17</sup>世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行なう者は、いつまでもながらえます。

「実際、この世の中に広まる全てのこと - 自分のやりたいことを求め、自分のために全てを求め、重要そうに見えることを求めること - は、御父とは一切関係ありません。そういうことは、あなたを御父から切り離すだけです。この世と、この世の求める全てのは、すたれて行きます。しかし神の求めることを行う者は、永遠に生きるのです。」(ザ・メッセージ訳)

## I. 私たちの最大の問題は罪の問題です。それは私たちを、神との問題に直面させるのです。

ローマ人への手紙は、世界中の根本的な問題は、貧困や教育の欠如、女性の権利、動物の権利、医療等ではないことを教えています。いろいろと間違っている全てのことの中で最大の問題は、人間、即ち私たちなのです。全ての人は罪を犯し、神の栄誉を受けることが出来ず、神に対する頑固な反抗の中にたてこもっているのです。たとえ外面がどんなに善良であったとしても。

あなたの人生において、キリストから離れている限り、あなたは神の栄光に対して静かな戦いをいどんでいるのです。

ローマ 3:9-10<sup>9</sup>では、どうなのでしょう。私たちは他の者にまさっているのでしょうか。決してそうではありません。私たちは前に、ユダヤ人もギリシヤ人も、すべての人が罪の下にあると責めたのです。<sup>10</sup>それは、次のように書いてあるとおりです。「義人はいない。ひとりもない。…」

ローマ 3:22-23 …何の差別もありません。<sup>23</sup>すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず…

罪とは、その本質において、神の栄誉を受けるには足りないということです。

罪を罪とするものは、人を傷つけることが第一ではありません。もちろん、罪は、ひどい方法で人を傷つけます。しかし、罪を罪とする第一のものは、神を冒瀆することです。この世における美德と正義と礼拝の究極の源である神を拒絶することです。そのことが、私たちに對する、また回りの全ての人々に対するあらゆる種類の他の罪を引き起こすのです。

ローマ 1:18-32 で、パウロはこの普遍的な罪の問題が、世界中において、また私たち個人の生活において、どのように現れているか、その恐ろしい一面を記しています。

ローマ 1:18-19<sup>18</sup>というのは、不義をもって真理をはばんでいる人々のあらゆる不敬虔と不正に対して、神の怒りが天から啓示されているからです。<sup>19</sup>なぜなら、神について知りうることは、彼らに明らかであるからです。それは神が明らかにされたのです

ローマ 1:20 神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物によって知られ、はっきりと認められるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。

ローマ 1:22-23 <sup>22</sup> 彼らは、自分では知者であると言いながら、愚かな者となり、<sup>23</sup> 不滅の神の御栄えを、滅ぶべき人間や、鳥、獣、はうもののかたちに似た物と代えてしまいました。

ザ・メッセージ訳 「彼らは、全てを知ったかぶりをしているが、人生について無知である。彼らは、その御手に全世界を抱いている神の栄光を、道端の出店で買える安物の像と、取り替えてしまった。」

これは間違ったものへの礼拝という悲劇的な出来事です！そして、それこそが世界における、究極の悪であり、究極の暴行なのです。それこそが罪の本質です。神に対する反抗です。誰か人を怒らせ、傷つけるずっと前に、神を怒らせているのです。

## II. 神の栄光を取替えるという罪の状態は、神の怒りを私たちへともたすのです！

ローマ 5:8-10 <sup>8</sup> しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。<sup>9</sup> ですから、今すでにキリストの血によって義と認められた私たちが、彼によって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです。<sup>10</sup> もし敵であった私たちが、御子の死によって神と和解させられたのなら、和解させられた私たちが、彼のいのちによって救いにあずかるのは、なおさらのことです。

神の栄光と輝きを見つめるかわりに、プラスチック製の安物の宝をほめそやす、この世の見世物台に集まる私たち全員を、神は見ていたのにもかかわらず、神のひとり子を私たちの身代わりとして死なせるために、この世に送ってくださいました。

今日、あなたの信頼を神に置きましょう。救ってくださいと、神のあわれみを叫び求めましょう。あなたの罪の代価を、キリストが十字架において支払ってくださったことを土台として、神に赦しを求めましょう。

**キリストを既に知っている人は…、あなたが何を握りしめているかチェックしてみましょう。**

- あなたは、何かこの世の宝にしがみついていますか？神こそを、あなたの最大の宝として大切にするかわりに。

何度も繰り返し、キリストのもとへ行きましょう。そしてキリストこそが、この世における最大の宝であると見なしましょう。キリストは神の前に、あなたの義の岩であり、本当の人生の現実（リアリティ）なのです。